

令和3年度			
講習の区分	<選択必修領域講習>受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域		講習時間数 6 時間
講習の名称	【選択必修】学校における危機管理上の課題		講習形態 講義、演習 (WEB配信)
開設者	長崎ウエスレヤン大学(4月より鎮西学院大学へ校名変更)		定員 50名
開設日/時間	令和3年8月5日(木) / 8:50~16:30	会場	動画配信が受信できる場所。 職場もしくは自宅など
主な受講対象者	学校種	<input type="checkbox"/> 幼 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 特支	
	免許職種、教科等	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 特定しない	
	職務経験等	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 特定しない	
講習の概要	学校、家庭及び地域の連携及び協働		
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL ※6/7変更 担当教員：渡邊研三(現代社会学部) Eメール watanabek@wesleyan.ac.jp TEL: 0957-26-1234 (代表)			
担当教員(分担担当者等) : 石部邦昭 (非常勤講師)			
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい: 教員として子どもの問題やさまざまな緊急事態にいかに対処すべきか考察する。学校外の地域の諸機関との連携体制および学校運営のうえで留意すべき危機管理事項についても見識を深め、子どもたちを守るための具体的方策について考える。 講習方法: 教育現場が直面している今日的課題をもとに講義を行う。 講習到達目標: 1. 家庭・地域社会等との連携協力の在り方について理解する。 2. 学校における危機管理上の課題とその対応について理解する。			
講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード 講習内容(概要) : 本講座では、児童・生徒と教職員の安全を守り、学校に対する保護者・地域の信頼をより確かなものにするべく、特に、ヒヤリ・ハットと職員研修の方策、家庭・地域との連携、リスク・マネジメントとクライシス・マネジメント、いわゆるクレーム問題等について、講義やグループ演習・シミュレーション演習を通して、リスクを減らすための具体的方策や意識のあり方など、学校における危機管理とその課題について学びます。 講習計画・内容:			
	内容等	時間	担当教員
	オリエンテーション	8:50~ 8:55	石部邦昭
	学校における危機管理上の課題	8:55~10:15 (休憩15分)	〃
	学校・家庭及び地域との連携	10:30~11:50	〃
	昼休憩	11:50~12:45	
	チームとしての学校	12:45~14:05 (休憩15分)	渡邊研三
	暴力行為・不登校・いじめ	14:20~15:30 (休憩10分)	〃
	筆記試験	15:40~16:30	石部・渡邊
キーワード: (危機管理)(地域連携)			
成績評価の方法	成績評価は、講習中の課題への取組や筆記試験の成績等から総合的に判断します。		
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。		
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。		
教科書・教材・参考書	詳細については、講習前にメールにてお知らせします。		
各自で準備するもの	YouTubeでの動画配信を行いますので、パソコン等の受信可能な機器をご準備ください。		
受講上の注意	1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。		